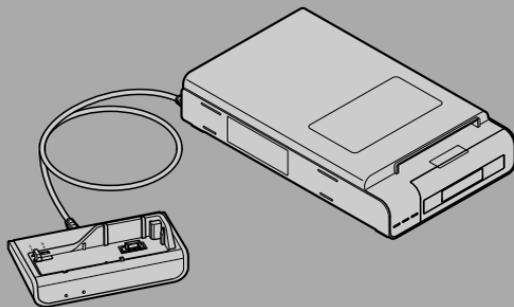


# SONY®

# デジタルフォト プリンター

## DPP-FPHD1



### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**SUPER  
COAT 2**

# **警告** 安全のために

→ 33～35ページも  
あわせてお読みください。

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 「安全のために」の注意事項を守る

33～35ページの注意事項をよくお読みください。

## 定期的な点検

1年に1度は、電源コードに傷がないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

## 万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら

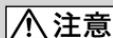
- ➔
- ① 電源を切る
  - ② 電源プラグをコンセントからはずす
  - ③ テクニカルインフォメーションセンターに連絡する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



手を挟まれないよう注意



注意

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

# お使いになる前に必ずお読みください

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種CD、TV映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

## 記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、プリントや記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

## バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

## 商標について

- “サイバーショット”はソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。
- 本ソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。

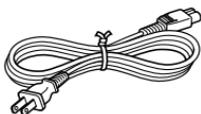
# 付属品の確認

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

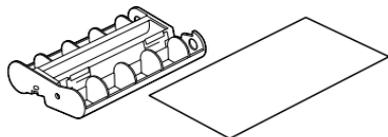
ACアダプター AC-S2422 (1個)



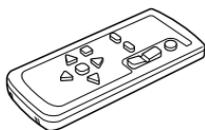
電源コード(1本)



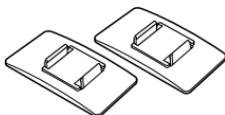
クリーニングカートリッジ(1個)/  
クリーニングシート(1枚)



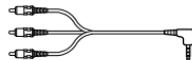
リモコン(1個)



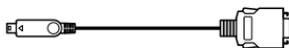
縦置きスタンド(2個)



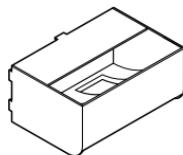
A/V接続ケーブル(1本)



D端子コンポーネントビデオケーブル  
(1本)



ペーパープロテクター (1個)



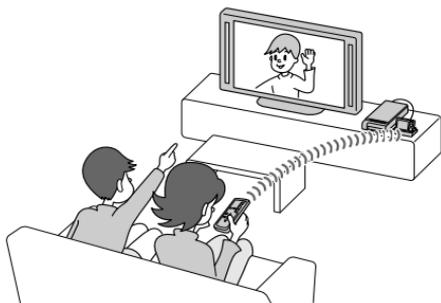
- お試しプリントバック (Pサイズ)
- 取扱説明書(1部)
- カスタマー登録のご案内(1部)
- 保証書(1部)
- ソニーご相談窓口のご案内(1部)

# 目次

安全のために .....	2
お使いになる前に必ずお読みください .....	3
付属品の確認 .....	4
こんなことができます .....	6
各部の名前 .....	8
準備する .....	11
プリントバックを用意する .....	11
インクリボンを入れる .....	12
プリントペーパーを入れる .....	13
接続する .....	16
テレビで見る .....	18
プリントする .....	19
バッテリーを充電する .....	21
困ったときは .....	22
故障かな？と思ったら .....	22
プリントペーパーが詰まったら .....	27
本機内部のクリーニングをする .....	27
使用上のご注意 .....	29
主な仕様 .....	30
画像の表示範囲 .....	31
保証書とアフターサービス .....	32
安全のために .....	33

# こんなことができます

デジタルフォトプリンターを使うと、ハイビジョンテレビで画像を楽しむことができ、印刷したい画像はその場でプリントすることができます。



## 撮影

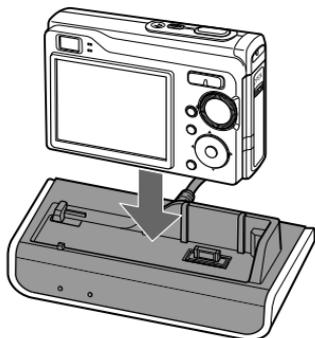


DSC-W80で撮影します。

DSC-W80の使い方についてはカメラの取扱説明書およびサイバーショットハンドブック(PDF)をご覧ください。

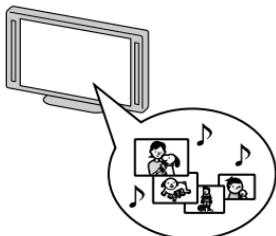
## 設置

カメラをカメラアダプターに取り付ける。



## 再生

D端子コンポーネントビデオケーブル(付属)を使って、ハイビジョンテレビで画像を楽しむことができます。→18ページ

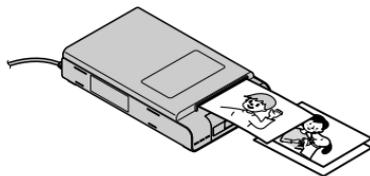


撮影した画像をエフェクトおよび音楽とともに再生することもできます(スライドショー)。→18ページ



## プリント

プリントしたい画像でリモコンのPRINTボタンを押すと、簡単にプリントできます。→19ページ

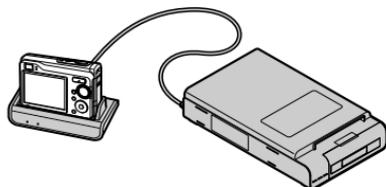


- 20枚まで連続してプリントできます。プリントサイズは、LサイズとPサイズがあります。
- 「スーパーコート2」プリントペーパーは、プリントの高保存性を実現しています。また、耐水性、耐皮脂性にも優れています。

## 充電

電源をオフにすると、カメラアダプターでの充電が可能です。

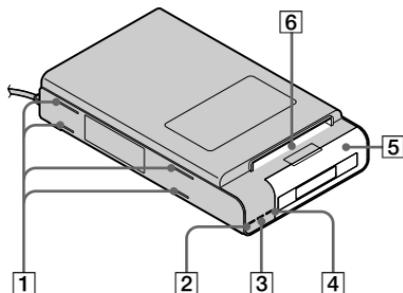
カメラに同梱しているチャージャーよりも早く充電することができます。→21ページ



# 各部の名前

詳しい説明は、( )内のページをご覧ください。

## 本体



### ① スタンド穴(17ページ)

### ② ㊦(電源)ランプ

- 赤く点灯：スタンバイ状態です。
- 黄緑に点灯：電源が入った状態です。
- 黄緑で点滅：プリント中です。エラー発生時にも点滅します。

### ③ アクセスACCESSランプ(20ページ)

- 点灯：カメラが接続されています。
- 点滅：画像ファイルが壊れています。

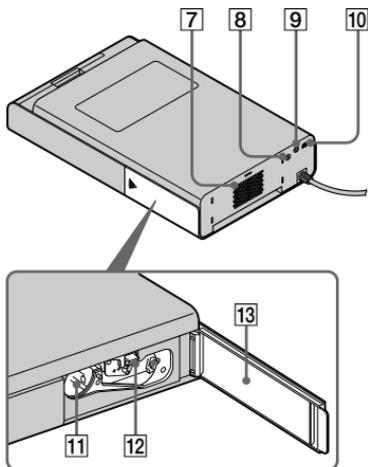
### ④ エラーERRORランプ(12, 27ページ)

- 点灯：ペーパートレイがありません。プリントペーパーがありません。または、プリンター本体にプリントペーパーが残っています。
- ゆっくり点滅：インクリボンが終わりました。またはインクリボンが入っていません。
- 速く点滅：プリントペーパーがつまっています。

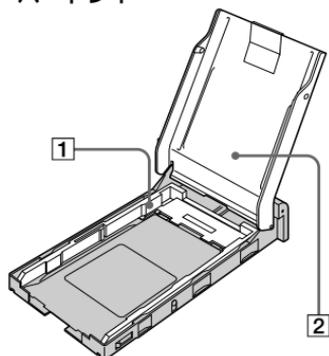
### ⑤ ペーパートレイ(13ページ)

### ⑥ 排紙口

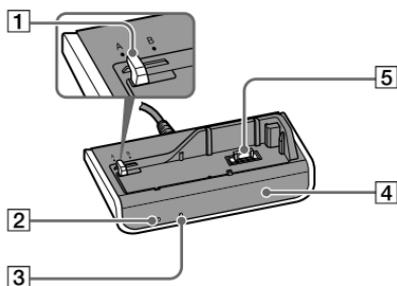
- プリントペーパーは、排出されたまま20枚以上放置しないでください。



### ペーパートレイ



### カメラアダプター



7 通風孔

8 DC IN 24V 端子 (16 ページ)

付属の AC アダプターのプラグを差し込み、電源コードで AC アダプターと家庭用電源を接続します。

9 A/V OUT 端子 (17 ページ)

10 COMPONENT OUT 端子 (17 ページ)

11 インクリボン挿入口 (12 ページ)

12 インクリボン取り出しレバー (12 ページ)

13 インクリボンカバー (12 ページ)

1 L サイズアダプター (14 ページ)

L サイズのプリントペーパーを使用するときだけ、取り付けます。

2 ペーパートレイカバー (13 ページ)

1 機種切替スイッチ

本機は A の位置でのみ使うことができます。

2 CHARGE ランプ (21 ページ)

3 HD OUTPUT ランプ

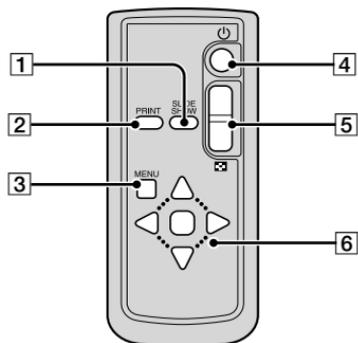
• カメラの設定が「HD (D3)」のとき点灯します。

4 リモコン受光部

5 マルチ接続端子

## 各部の名前(つづき)

### リモコン



スライドショー  
① SLIDE SHOW ボタン(18ページ)

プリント  
② PRINT ボタン(19ページ)

メニュー  
③ MENU ボタン\*

カメラのMENU ボタンと同じ働きをします。  
ただし、再生メニューの「加工」はできません。

④ 電源(電源)ボタン(18ページ)

- 電源を入れるには、電源ボタンを押して、ランプを黄緑に点灯させます。
- 電源を切るには、電源ボタンを再度押し、ランプを赤く点灯させます。

⑤ (インデックス) ボタン

側を押すと一覧表示画面に切り替わります。  
もう一度押しと、さらに細かい一覧表示画面になります。  
反対側のボタンを押すと、前の一覧表示画面に戻ります。

- ⑥ コントロールボタン(▲/▼/◀/▶/●)\*  
▲/▼/◀/▶を押して画像を選んだり、MENU項目を選んだりします。  
●で決定させます。

\*使いかたについて詳しくは、カメラの取扱説明書およびサイバースhootハンドブック(PDF)をご覧ください。

### ご注意

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使用してください。



- カメラアダプターのリモコン受光部に向けて操作してください。

### リモコンの電池を交換するには

- タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- +面を上にして新しい電池を入れる。
- 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

# 準備する

## プリントバックを用意する

プリントするためには、プリントバックが必要です。付属のお試しプリントバックはPサイズ(ポストカードサイズ) 5枚用インクリボン1巻と、Pサイズプリントペーパー 5枚が入っています。

### プリントペーパーのサイズ

プリントペーパーには次の2通りのサイズがあります。

- Lサイズ(89 × 127ミリ\*)
- Pサイズ  
(101.6 × 152.4ミリ\*)

(\*ふち無しの最大プリントサイズです。)

### 本機で使用できるプリントバック

プリントしたいサイズによって以下の別売りプリントバックをお使いください。

#### Lサイズ

SVM-F40L

- Lサイズプリントペーパー 40枚
- 40枚用インクリボン1巻

SVM-F120L

- Lサイズプリントペーパー 120枚
- 40枚用インクリボン3巻

#### Pサイズ

SVM-F40P

- Pサイズプリントペーパー 40枚
- 40枚用インクリボン1巻

プリントバックは、「ソニー製品お取り扱いのお店」または「Sony Style」(<http://www.jp.sonymstyle.com>)で買い求めいただけます。

### ■プリントバック使用上のご注意

- プリントペーパーとインクリボンの組み合わせが正しくないと印刷できません。  
プリントペーパーと同じ箱に入っているインクリボンをご使用ください。
- プリントペーパーは、印刷のない面がプリント面です。プリント面に指紋やほこりが付着しますと、きれいにプリントできないことがありますので、プリント面に手を触れないように注意してお取り扱いください。
- プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。
- プリンター故障の原因になりますので、一度使用したプリントペーパーでプリントしたり、リボンを巻き戻してプリントしないでください。

### ■プリントバック保存時のご注意

(きれいなプリントのために)

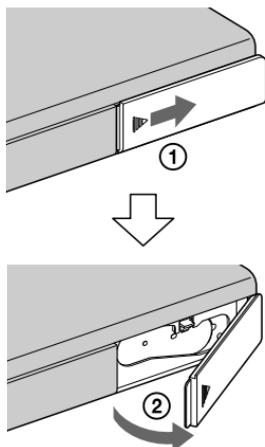
- 使用中で本体から取り出して長期保存する場合は、ほこりが付かないように製品の入っていた袋などに入れて保存してください。
- 温度の高いところ(30℃以上)、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 製造後2年以内のご使用をお勧めします。

### ■プリント面保存上のご注意

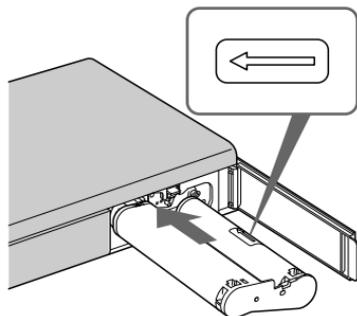
- プリント面の表面に、可塑性を含むプラスチック消しゴムやデスクマットなどを長時間触れさせると変退色することがあります。

## インクリボンを入れる

### 1 インクリボンカバーを手前に開ける



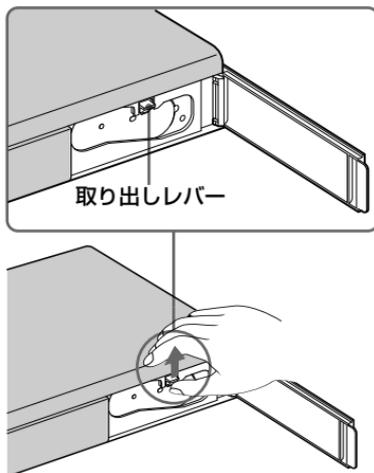
### 2 インクリボンを矢印の方向に「カチッ」とロックするまで奥へ差し込む。



### 3 インクリボンカバーを閉める。

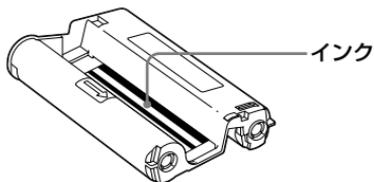
### インクリボンを取り出すには

インクリボンを使い切ると、ERRORランプがゆっくり点滅します。インクリボンカバーを開け、緑色の取り出しレバーを上を押して、インクリボンを取り出します。

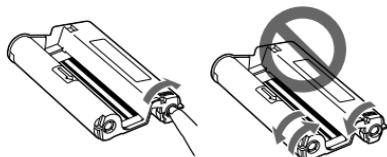


### ■ご注意

- プリントペーパーと同じ箱に入っているインクリボンを使用してください。
- インクリボンのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。



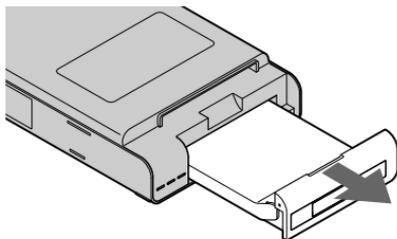
- 熱くなっていることがありますので、インクリボンカバーの内部に手を入れないでください。
- リボン巻を巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られず、また故障の原因になります。
- インクリボンがうまく入らないときは、いったんインクリボンを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのリボンの芯を矢印の方向に押しながら回してリボンのたるみを取ってください。



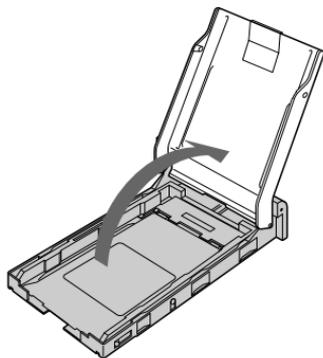
- プリント中はインクリボンを取り出さないでください。

## プリントペーパーを入れる

### 1 ペーパートレイを開ける。



### 2 ペーパートレイカバーを上を開ける。



### 3 お使いになるペーパーのサイズに合わせてLサイズアダプターをセットする。

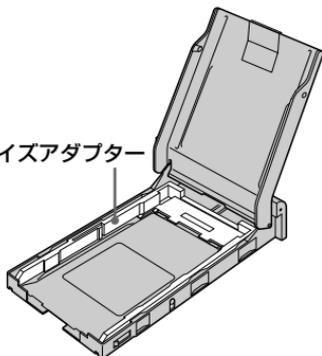
付属のお試しプリントパックは、Pサイズです。Lサイズアダプターをはずしてください。

## 準備する(つづき)

### ■ Lサイズの場合

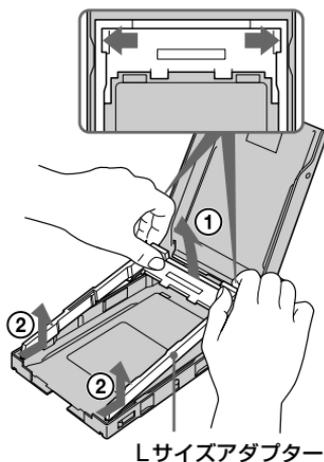
Lサイズアダプターは取り付けたま  
まにします。

Lサイズアダプター



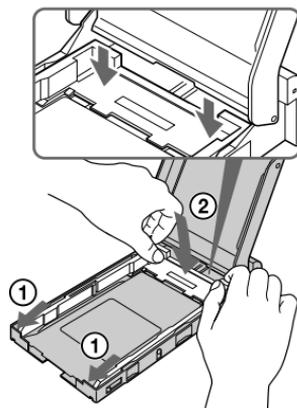
### ■ Pサイズの場合

図のようにアダプターのロックを外し  
(①)、Lサイズアダプターを上を持ち  
上げてはずします(②)。



Lサイズアダプター

Lサイズアダプターを取り付けるには  
Lサイズアダプターのツメをトレイ先端  
の穴に合わせて(①)、アダプター後部を  
カチッというまで下ろします。



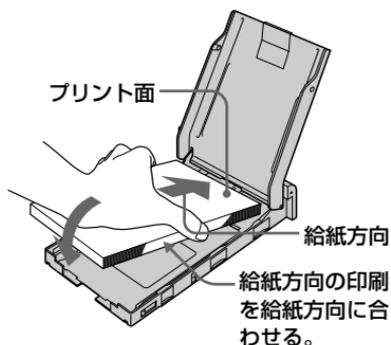
## 4 ペーパーをトレイに入れる。

20枚まで入れられます。

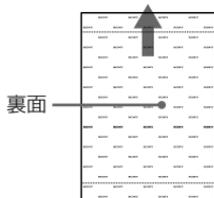
ペーパーをよくさばいてから、保護シートを上にしてトレイに入れます。

保護シートがない場合：

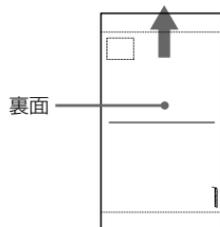
ペーパーをよくさばいてから、ペーパーのプリント面(何も印刷されていない面)を上にしてセットします。



- Lサイズの場合：ペーパー裏面の「SONY」と印刷してある方を下にして、給紙方向に合わせて入れます。



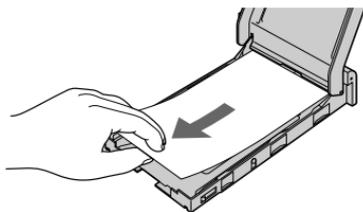
- Pサイズの場合：ペーパー裏面の切手位置の印刷を、給紙方向に合わせて入れます。



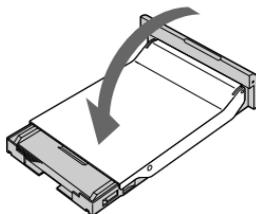
### ■ご注意

プリント面(何も印刷されていないつやのある面)には触れないようにしてください。印刷前に汚れや指紋が付着すると印画結果に影響があります。

## 5 保護シートを抜き取る。

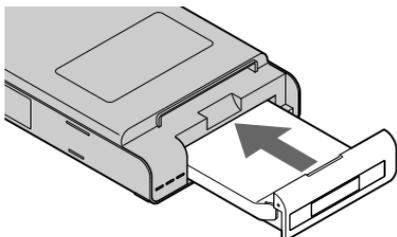


## 6 ペーパートレイカバーを閉める。



### 7 トレイを本機に入れる。

固定されるまでしっかりと奥までまっすぐ入れてください。



#### ❏ ご注意

- プリント中は、ペーパートレイは抜かないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - 字を書かない。(プリント後に油性ペンで記入してください。インクジェットプリンター等での宛名印刷や、文字印刷はできません。)
  - 一切手やシールを貼らない。
  - 折ったり曲げたりしない。
  - プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が20枚を超えないようにする。
  - 違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - 一度使用したプリントペーパーでプリントしない。(同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。)
  - 指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - 一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない。

#### ❏ 保存上のご注意

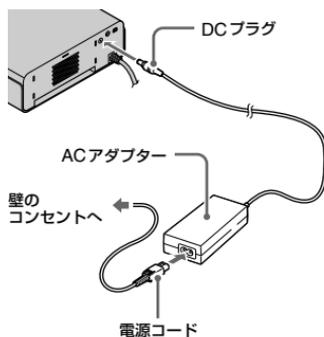
- プリント面どうしを重ね合わせて保存したり、プリント面を塩化ビニールや可塑剤が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変退色することがあります。

## 接続する

### 1 ACアダプター (付属)のケーブルをプリンターのDC IN 24V端子につなぐ。

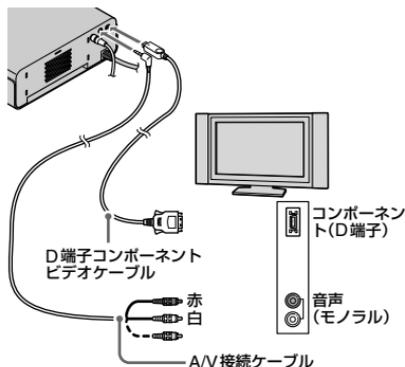
### 2 電源コードを、ACアダプターと壁のコンセントに差し込む。

⏻ (電源)ランプが赤く点灯します。



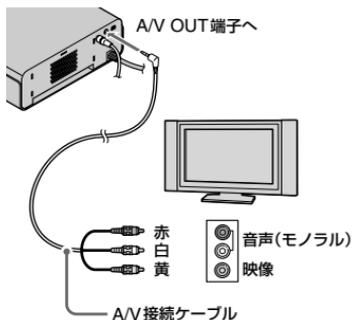
### 3 テレビと接続する。

D端子コンポーネントビデオケーブルとA/Vケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する。



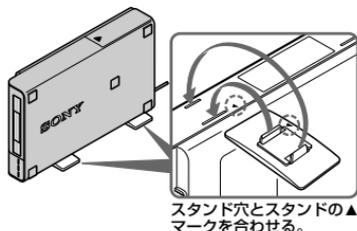
- A/V接続ケーブルとD端子コンポーネントビデオケーブルを両方接続すると画像はD端子コンポーネントビデオケーブルから出力され、A/V接続ケーブルからは出力されません。
- カメラの「コンポーネント出力」設定を「HD (D3)」にしてください。詳しくはサイバースhotsハンドブックをご覧ください。

A/Vケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する。



テレビでの再生については、詳しくは18ページをご覧ください。

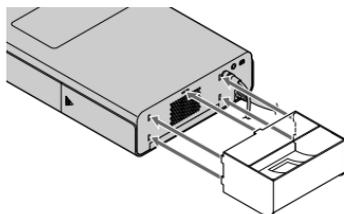
プリンターを縦置きにするには  
スタンドを取り付け、縦置きにすることも  
できます。



ペーパープロテクター (付属)を使うときは

プリント中は本機背面の通紙口からプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。

ペーパープロテクターを使うと、プリント中に排出される紙を保護することができます。また、通風孔をふさいでしまうことを防ぎます。



#### ■ご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁と家具との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN 24V端子とコンセントから取りはずしてください。

# テレビで見る

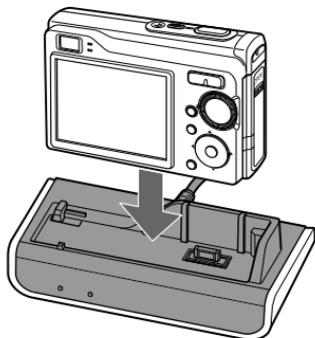
## ■で注意

カメラの「USB接続」設定が、「PictBridge」または「オート」になっていることを確認する。

詳しくは、カメラの取扱説明書およびサイバースhootハンドブックをご覧ください。

付属のA/Vケーブル、もしくはD端子コンポーネントビデオケーブルと併用してテレビと接続し、画像を見ることがができます。

## 1 カメラをカメラアダプターに取り付ける。



●本機はDSC-W80専用です。

## 2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

●詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

## 3 リモコンの(電源)ボタンを押し、カメラの電源を入れる。

プリント画面が出る。



## 4 リモコンのコントロールボタンの▼で「終了」を選び、中央の●を押す。

再生画面になる。

## 5 ◀▶で見たい画像を選ぶ。

- 動画は再生できません。
- D端子コンポーネントビデオケーブルとつなぐ場合は、あらかじめカメラの「コンポーネント出力」設定を「HD (D3)」にしてください。

## スライドショーで見る

リモコンのSLIDESHOWボタンを押すだけで、撮影した静止画を順番に再生することができます。

●スライドショーの設定は、カメラで変更できます。

# プリントする

- 操作は、リモコン、カメラどちらのコントロールボタンでも行えます。

## 1 カメラをカメラアダプターに接続して、カメラの電源を入れる。

プリント画面が出る。



以下のプリントモードから選ぶことができます。

- 表示している画像のプリント→手順2へ
- 画像選択プリント→手順3へ

## 2 リモコンのPRINT ボタンまたはコントロールボタンで「この画像」を選んで、中央の●を押す。

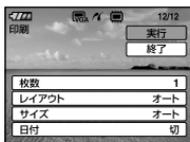
手順5へ進んでください。

## 3 画像を選ぶときは、リモコンのコントロールボタンで「画像選択」を選び、中央の●を押す。

## 4 コントロールボタンで画像を選ぶ。

- ① ◀▶ で画像を選び、中央の●を押す。
- ② MENU ボタンを押す。
- ③ 「実行」を選び、中央の●を押す。

## 5 印刷設定する。



以下のプリントモードから選ぶことができます。

- インデックスプリント
- ふち有り/無しのプリント\*
- 日付プリント

\* 16:9の画像サイズの場合は、ふち有りにするとう画像が切れずに印刷できます。(31ページ)

## 6 コントロールボタンで「実行」を選び、中央の●を押す。

画像がプリントされます。

「印刷中」の画面が消えると、印刷完了です。

- プリントについて詳しくは、サイバースhootハンドブックをご覧ください。
- テレビに画像を写して、画像を見ながらプリントすると便利です。(18ページ)

### ■ プリント中のご注意

- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。インクリボンが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、ペーパートレイを入れたまま電源を入れなおし、自動排紙されたプリントペーパーを取り除いてから、操作を手順1からやり直してください。
- プリント時、背面からも何度か紙が出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでください。ペーパープロテクターを取り付けるなどして、本機後面のスペースはなるべく広くとるようにしてください。
- 連続プリント中にプリントペーパーがなくなった場合、またはペーパートレイにプリントペーパーが入っていない状態でプリントした場合は、本機のERRORランプが点灯します。そのまま電源を切らずにプリントペーパーを補充して、プリントを再開してください。

## プリントする(つづき)

### ACCESSランプの状態について

ACCESSランプは、本機とカメラ間の通信状況を以下のように示しています。

- ACCESSランプ点灯  
カメラとの通信が確立された状態です。
- ACCESSランプ点滅  
プリントしようとした画像ファイルが壊れています。

# バッテリーを充電する

カメラの電源を切った状態でカメラアダプターに接続すると、カメラアダプターのCHARGEランプが点灯し充電が始まります。

- カメラの電源が入っているときは充電できません。
- 充電が実用充電\*に達すると、CHARGEランプが消灯します。
  - \*実用充電での撮影、再生時間は満充電の約90%です。
- カメラのバッテリーを使い切ったからの温度25℃での満充電時間は、230分です。  
使用状況や環境によっては、長くかかります。
- CHARGEランプが点灯しない場合や点滅が10秒以上続く場合は、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
- プリンターのモーターが動いている場合は、停止してから電源を切ってください。モーターが動いている間は充電できません。
- 本機にカメラを取り付けたあと、CHARGEランプが3～10秒間ゆっくりと点滅することがあります。  
カメラアダプターとカメラが通信中に表示されるもので、故障ではありません。

## 充電するときの温度

室温が0～40℃の範囲で充電できますが、電池の性能を十分に発揮させるためには10～30℃での充電をおすすめします。10～30℃以外では、効率の良い充電ができないことがあります。

# 困ったときは

## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

### ■電源・充電

電源が入らない。

- 電源プラグが正しく差し込んであるか確認する。

バッテリーが充電できない(CHARGE ランプが点灯しない場合)。

- カメラの電源を切る。
- AC アダプターが正しく接続されているか確認する。
- カメラがカメラアダプターに正しく取り付けられているか確認する。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する。
- 充電が完了している。
- 正しいバッテリーが取り付けられていません。ご使用のカメラ推奨のバッテリーを使用する。
- プリンターのモーターが動いている。停止してから、カメラの電源を切る。

CHARGE ランプが早く点滅する、または10秒以上点滅が続く。

- 正しいバッテリーが取り付けられていません。ご使用のカメラ推奨のバッテリーを使用する。
- カメラがカメラアダプターに正しく取り付けられているか確認する。

カメラの電源が入らない、または電源が途中で切れる。

- カメラがカメラアダプターに正しく取り付けられているか確認する。
- AC アダプターが正しく接続されているか確認する。

### ■カメラとの接続

本機のACCESSランプが点灯しない。

- ケーブルが正しく接続されているか確認する。
- 本機の電源が入っているか確認する。
- 本機のACCESSランプが点滅している場合は、下記のいずれかを行う。
  - カメラと接続し直すか、カメラと本機の電源を入れ直す。
  - カメラの設定が「Mass Storage」になっているため、「PictBridge」か「オート」に変更する。

## ■プリントする

---

### デジタルカメラにエラーが表示されプリントできない。

- インクリボンとプリントペーパーの組み合わせが正しくありません。インクリボンと同じ種類のプリントペーパーを入れる。インクリボンの種類を変えたい場合は、いったんプリントを中止し、インクリボンを取り替えてから再度プリントする。
- 

### 給紙されない。複数枚重なって給紙される。または、斜めに給紙される。

- プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。
    - 正しい組み合わせのプリントペーパーとインクリボンが入っているか(→ 11ページ)。
    - プリントペーパーは正しい向きで入っているか(→ 15ページ)。
    - Lサイズのプリントペーパーをお使いの場合、Lサイズアダプターを正しくセットしたか(→ 14ページ)。
    - トレイに20枚以上のプリントペーパーが入っていないか(→ 15ページ)。
    - プリントペーパーをよくさばいたか。
    - プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたりしていないか。
    - 連続プリント中にプリントペーパーがなくなった場合、またはペーパートレイにプリントペーパーが入っていない状態でプリントした場合は、本機のERRORランプが点灯します。そのまま電源を切らずにプリントペーパーを補充して、プリントを再開する。
  - 本機で使用できないプリントペーパーを使用しています。指定されたプリントペーパーを使用する。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。(→ 11ページ)
  - プリントペーパーが給紙されないときは、本機のERRORランプが速く点滅します。いったん本機からトレイを抜いてプリントペーパーがつかまっているか確認する。
- 

### プリント中にプリントペーパーの端が出てくる。

- プリントの途中には、プリントペーパーが一時的に何度か出てきます。プリントペーパーが自動的に排出されるまで、触ったり、引っ張り出したりしない。また、プリント時、背面からも紙が何度か出てくるので、ペーパープロテクターを使うなどして、本機背面のスペースはなるべく広くとる。
- 

### プリントできない。

- 動画はプリントできません。

### ■プリント結果

---

#### プリント画質が悪い。

- インクリボンにゴミが付着しています。インクリボンのプラスチック部分を拭いてゴミを取り除く。
  - プリント面に埃や指紋などが付着しています。プリントペーパーの取扱い時、プリント面(何も印刷されていないつやのある面)には触れないようにする。プリント面に埃や指紋などが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
  - 一度使用したプリントペーパーやインクリボンを使用しています。一度使用したプリントペーパーまたは、インクリボンでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。また、故障の原因になります。
- 

#### カメラの画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。

- 発色方法の違いやモニターや液晶画面の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
- 

#### 印画範囲いっぱいにはプリントされない。

- 画像サイズによって印刷範囲は異なります。  
→ 31ページをご覧ください。
- 

#### 斜めにプリントされてしまう。

- ペーパートレイが正しく装着されていない。ペーパートレイを再度固定するまでしっかり奥までまっすぐに入れてください。
- 

#### カメラで画像を回転させたが、プリント時に反映されていない。

- 回転させた画像をプリントしても、本機では回転前の画像がプリントされます。

## ■テレビで見る

---

### テレビに画像／音声がでない。

- D 端子コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。コンポーネント映像入力端子に対応する音声端子にA/V 接続ケーブルを接続する。
  - HD 出力設定が正しくない可能性があります。カメラの取扱説明書を確認して正しく設定する。
- 

### A/V 接続ケーブルから画像が出ない。

- D 端子コンポーネントビデオケーブルが接続されている場合、D 端子コンポーネントビデオケーブルを抜く。
- 

## ■その他

---

### インクリボンがうまく入らない。

- いったんインクリボンを取り出してから、入れ直す。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、インクリボンのリボンの芯を矢印の方向に押しながらかいて回してリボンのたるみを取る(→13ページ)。
- 

### インクリボンが取り出せない。

- ペーパートレイを入れたまま、本機の電源を入れ直す。初期動作が止まったらインクリボンを取り出せます。それでも取り出せないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください
- 

### 用紙が出てこない。

- ERRORランプが速く点滅している場合は、用紙がつまっています。27ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除く。取り除けない場合は、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。
  - ERRORランプが点灯している場合は、プリントペーパーを取り除いてから、プリントを再開する。27ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除く。取り除けない場合は、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 

### プリントが途中で止まってしまった

- ERRORランプが速く点滅している場合は、用紙がつまっています。27ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除く。取り除けない場合は、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

## 困ったときは(つづき)

---

ボタンおよびリモコン操作を受け付けない。

- カメラが本機に正しく取り付けられているか確認する。
  - AC アダプターが正しく接続されているか確認する。
  - リモコンの電池が切れているので、新しい電池と交換する。
- 

カメラが取り付けられない。

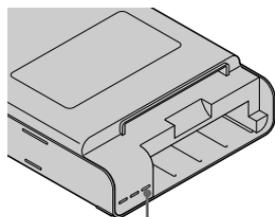
- 機種切換スイッチが「A」の位置になっているか確認する(→9ページ)。
-

## プリントペーパーが詰まったら

プリントペーパーが詰まると、ERRORランプが点灯、または速く点滅し、プリントできなくなります。

ERRORランプが点灯している場合は、プリントペーパーを手で取り除いてからプリントを再開してください。

ERRORランプが速く点滅している場合は、電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んでください。初期動作が終了したら、ペーパートレイを抜き、給紙口(排紙口)にプリントペーパーが詰まっていないか確認してください。プリントペーパーがあれば、取り除いてください。



ERRORランプ

### ■ご注意

プリントペーパーを取り出せない場合は、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

## 本機内部のクリーニングをする

プリント上に白いスジや周期的に点状のキズが入るようになった場合は、同梱されているクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使い、内部のクリーニングを行ってください。

- 1** インクリボンカバーを開け、印刷用のインクリボンが入っている場合には、インクリボンを取り出す。(12ページ)
- 2** 付属のクリーニングカートリッジを入れ、インクリボンカバーを閉める。
- 3** ペーパートレイを抜き、印刷用のプリントペーパーが入っている場合はすべて取り出す。

---

#### 4 Lサイズアダプターをはずす(14ページ)。

---

#### 5 クリーニングシートを印刷のない面を上にして、ペーパートレイにセットする。



---

#### 6 ペーパートレイを入れる。

自動的にクリーニングを開始し、⏻(電源)ランプが緑にゆっくりと点滅します。

クリーニングが終わるとクリーニングシートが排紙口から排紙されます。

---

#### 7 クリーニングカートリッジとクリーニングシートを取りはずす。

- クリーニングカートリッジとクリーニングシートはいっしょに保存してください。

#### クリーニングが終わったら

印刷用のインクリボンとプリントペーパーを入れます。

#### ■ご注意

- 印刷結果に白いスジや周期的に点状のキズが現れた時のみクリーニングを行ってください。
- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリント画質が向上することはありません。
- 印刷用のプリントペーパーの上にクリーニングシートを重ねて使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 一度では、クリーニング効果が得られない場合があります。その場合は、2、3度クリーニングすることをおすすめします。

# 使用上のご注意

## 設置上のご注意

- 定められた横置き、縦置き以外の置かたをしないでください。故障の原因となります。
- 水平な場所に置いてください。
- ぶつかけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ
- 本体の通風孔をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

## ACアダプターについてのご注意

電源コンセントの形状は各国、各地さまざまです。本機を海外旅行者用の電子式変圧器(トラベルコンバーター)に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

## 結露について

本機を温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたちこめた部屋に置くと、本機の内部に水滴のつくことがあります。これを結露といえます。

この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

## 引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、インクリボン、ACアダプターを本体から取り外し、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらが無い場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

## お手入れ

本体の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

## 保存上のご注意

インクリボンやペーパーを保存するときは、次の点にご注意ください。

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用中で本体から取り出して保存する場合は、インクリボンの入っていた袋などに入れて保存してください。

## 複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に十分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

# 主な仕様

## ■ 本体

プリント方式	昇華型熱転写方式YMC3色 重ね
プリント解像度	300 dpi × 300 dpi 3色インクジェット 4800 dpi × 4800 dpi <sup>*1</sup> 相当 6色インクジェット 3810 dpi × 3810 dpi <sup>*2</sup> 相当
画像処理	YMC各8ビット(256階調)、 約1677万色
プリントサイズ	Lサイズ: 89 × 127 mm (最大、ふち無し) Pサイズ: 101.6 × 152.4 mm (最大、ふち無し)
プリント時間(1枚)	[PictBridgeモード] Lサイズ 約53秒: 7M, ファイル サイズ1.89 MB 約46秒: 3M, ファイル サイズ968 KB Pサイズ 約59秒: 7M, ファイル サイズ1.89 MB 約52秒: 3M, ファイル サイズ968 KB
入出力端子	DC IN端子 A/V OUT端子 COMPONENT OUT端子
プリント可能なファイルフォーマット	JPEG: DCF 2.0準拠、Exif 2.21 準拠、JFIF <sup>*3</sup> 画像の形式によっては、対応 できないことがあります。
使用インクリボン/プリントペーパー	「プリントバックを用意する」 (11ページ)参照

電源	DC IN端子入力、DC24 V (スタンバイ時、1 W以下)
消費電力	平均52 W以下 ピーク93 W以下
動作温度	5°C~35°C
外形寸法	185 × 62 × 302 mm (幅/ 高さ/奥行き) (突起部、ペー パープロテクター、スタンド 含まず)
質量	約1.75 kg (インクリボン、 プリントペーパー、ACアダ プター含まず)
付属品	「付属品の確認」(4ページ)参 照

## ■ カメラアダプター

外形寸法	約124 × 45 × 65 mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約90 g (ケーブル含まず)
動作温度	5°C~35°C

## ■ ACアダプター AC-S2422

定格入力	AC 100 V~240 V、50/60 Hz、1.5 - 0.75 A
定格出力	DC 24 V、2.2 A (Peak 3.7 A、6.5 s)
外形寸法	60 × 30.5 × 122 mm (幅×高さ×奥行き) (突起 部、ケーブル部を含まず)
質量	約305 g
動作温度	5°C~35°C

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

\*1 16 × 16のマトリックスを使用している場合、  
300 × 16 = 4800 dpi となる。

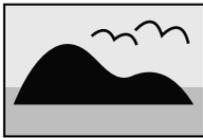
\*2 12.7 × 12.7のマトリックスを使用している場  
合、300 × 12.7 = 3810 dpi となる。

\*3 4:4:4、4:2:2、4:2:0形式のベースラインJPEG

## 画像の表示範囲

### ■ 表示範囲

フルハイビジョンテレビは、1920 × 1080画素をそのまま表示でき、画面比率が16:9になります。

撮影サイズ	ハイビジョンテレビの画像	プリントペーパー (3:2)
通常(4:3)	 <p>暗く表示されます。</p>	 <p>上下が少し切れます。</p>
3:2	 <p>暗く表示されます。</p>	 <p>画面すべてをプリントします。</p>
16:9		<p>ふち無し</p>  <p>左右が少し切れます。</p> <p>ふち有り</p>  <p>全体的に少し縮小し、画面すべてをプリントします。</p>

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### ■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

### ■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■ 保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### ■ 部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: DPP-FPHD1
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

# 安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因になります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。



分解禁止

## 内部に水や異物(金属物や燃えやすい物など)を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。



禁止

## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、テクニカルインフォメーションセンターに交換をご依頼ください。



禁止

## 機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品を飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

## 指定のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の  
家財に損害を与えたりすることがあります。

### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から20cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- 横倒しや逆さまで使用しない。



禁止

### コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。



指示

### 通電中の本機やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



接触禁止

### 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### 本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

### 本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。

また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。



接触禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしったり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

**動作中、通紙口に手を触れない、また、覗かない**  
急に紙が出てきて、けがの原因になることがあります。



禁止

**本体の上に乗らない、重いものを乗せない**  
落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

**電源コード、ペーパートレイ挿入口、インクリボンカバー、ペーパートレイなどを持って本体を持ち上げない**  
落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。



禁止

**お手入れの際は、電源プラグを抜く**

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

**コネクターはきちんと接続する**

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

**電源コードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない**  
断線や故障の原因となることがあります。



禁止

**お問い合わせ  
窓口のご案内**

**■テクニカルインフォメーションセンター**

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

●ナビダイヤル・・・☎0570-00-0066

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

●携帯電話・PHSでのご利用は・・・0466-38-0253

(ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください)

受付時間：月～金曜日 午前9時～午後8時

土、日曜日、祝日 午前9時～午後5時

お電話される際に、本機の型名(DPP-FPHD1)をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。

電話のおかけ  
間違いにご注  
意ください。

**ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1**



この説明書は、70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）  
ゼロ植物油型インキを使用しています。

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in China



3198774010